

平成27年度 財務報告書 を公表します

町民の皆さんに町の財務状況をより分かりやすくお知らせするため、国が推奨している「新地方公会計制度」に基づいた平成27年度の財務諸表を作成しました。ここでは、その主な内容についてお知らせします。

平成27年度決算に基づき、町の一般会計のほか、国民健康保険などの公営事業会計、水道事業や下水道事業の公営企業会計などを含めた町が管理する7会計と、盛岡・紫波地区環境施設組合などの一部事務組合・広域連合7団体、第三セクターを連結させて、財務諸表を作成しています。

なお、より詳しい内容は、町ホームページでご覧いただけます。

問い合わせ 役場企画財政課財政係 (☎ 611-2726)

1 貸借対照表

公共施設や現金、借金や債務など、町や関連団体が保有している財産（資産）がどのくらいあるかを示したもので、資産・負債・純資産の3つの要素から構成されています。左右の合計額が等しくバランスをとっていることから、バランスシートとも言われています。

資 産 1,256 億 1,210 万円 (町民一人当たり 463 万円)	負 債 391 億 9,135 万円 (町民一人当たり 144 万円)
町や関連団体が保有している財産です。将来にわたって資金流入が見込まれるものや行政サービスの提供能力を表しています。 (内訳) ○公共資産（道路、学校、上下水道など） 1,184 億 2,671 万円 ○投資など（基金、団体出資金、貸付金など） 28 億 1,942 万円 ○流動資産（現金・預金、税未収金など） 43 億 6,597 万円	将来の世代が負担する借入金（町債など）、将来返済する必要がある債務です。 純資産 864 億 2,075 万円 (町民一人当たり 319 万円) 現在の世代までが負担し、すでに支払いが済んでいる正味の資産です。
合 計 1,256 億 1,210 万円	合 計 1,256 億 1,210 万円

2 行政コスト計算書

貸借対象表が資産を対象としているのに対し、資産で表すことができない行政サービスにどのくらいのコストがかかっているかを示したものです。

経常行政コスト a 170 億 3,688 万円 (町民一人当たり 63 万円)
経常的にかかる行政サービスにかかる費用です。 ○人にかかるコスト 15 億 658 万円 職員給与など ○物にかかるコスト 43 億 9,437 万円 光熱水費、物品購入費、修繕費など ○移転支出的なコスト 119 億 1,753 万円 児童手当などの社会保障給付費、 各種団体への補助金など ○その他のコスト △ 7 億 8,160 万円 町債の利子など
経常収益 b 80 億 5,089 万円 (町民一人当たり 30 万円)
町民が行政サービスを利用して支払った使用料、手数料、負担金などです。
純経常行政コスト a - b 89 億 8,599 万円 (町民一人当たり 33 万円)

3 純資産変動計算書

貸借対照表の純資産が、1年間にどのように増減したかを示したものです。

平成 26 年度末純資産残高 454 億 304 万円
平成 27 年度変動額 410 億 1,771 万円
(内訳) ○純経常行政コスト △ 89 億 8,599 万円 ○一般財源（地方税など） 79 億 7,785 万円 ○国・県補助金など 53 億 4,336 万円 ○その他 366 億 8,249 万円

平成 27 年度末純資産残高 864 億 2,075 万円

4 資金収支計算書

1年間にどのような活動に資金を必要としているか、現金の増減を示したものです。

平成 26 年度末資金残高 42 億 3,483 万円
平成 27 年度収支 8,040 万円
(内訳) ○経常的収支 32 億 9,580 万円 ○公共資産設備収支 △ 9 億 6,184 万円 ○投資・財務的収支 △ 22 億 5,564 万円 ○その他 208 万円

平成 27 年度末資金残高 43 億 1,523 万円

※表中の町民一人当たりの金額は、平成28年3月31日現在の人口27,134人で算出しています。